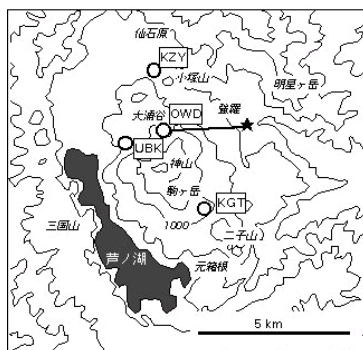


箱根火山の GPS 観測結果

箱根火山の 2001 年 6～11 月頃の活動を機に、中央火口丘周辺の 4 箇所で緊急に GPS 観測網を展開した (図 1)。このうち大涌谷の OWD 点のみで連続観測を行っている。

2006 年 8～10 月頃に山麓の電子基準点で山体の膨張が捉えられ、9～10 月に中央火口丘直下で群発地震活動が活発化した。この活動に伴う基線変化の有無を調べた。

図 2 に、OWD 点の相対変化の時系列(a)と変位軌跡(b)を示す。OWD 点は、2003 年 11



月に移設したため、実際の時系列は不連続であるが、移設前のトレンド上に概ね来るようにプロットしてある。気象補正済み上下成分 ((a)の下) と変位軌跡(b)は、移設後のみを示す。図で明らかなように、南西方向に約 1cm/年、沈降も約 1cm/年で続いている。2006 年秋の活動との関係では、水平成分は良くわからないが、上下成分は、それまでの沈降傾向が一時的に停止ないし若干隆起したようにも見える (図 2 (a) の上向き矢印)。

図 1 測線配置

星印は GSI 点 (国土地理院電子基準点 960723*)

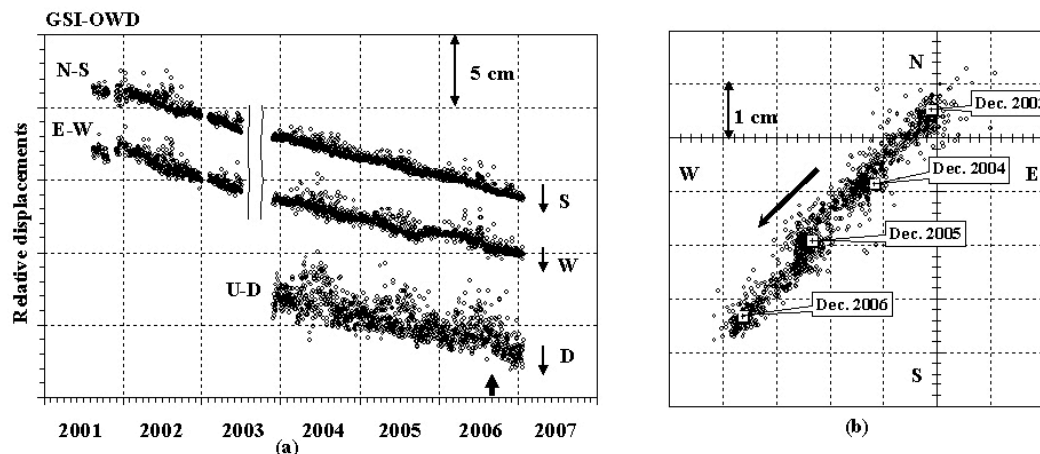


図 2 GSI-OWD の時系列(a)と変動軌跡(b)

* 本観測には国土地理院の電子基準点データを使用しました。記して感謝します。